

【表紙】

【提出書類】	内部統制報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の5第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年4月8日
【会社名】	グローム・ホールディングス株式会社
【英訳名】	GLOME Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮下 仁
【最高財務責任者の役職氏名】	該当なし
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂一丁目12番32号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【内部統制報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年6月29日に提出しました第28期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）内部統制報告書の記載事項に誤りがありましたので、金融商品取引法第24条の4の5第1項に基づき、内部統制報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

当該内部統制報告書は、2020年6月26日開催の当社取締役会にて最終的に承認されましたが、提出担当者による最終原稿の確認漏れがあり、取締役会で承認された記載内容と相違する内容で提出されてしまったことが原因で、誤りが生じたものです。

2【訂正事項】

5 特記事項

3【訂正箇所】

訂正箇所は下線を付して表示しております。

5【特記事項】

（訂正前）

該当事項なし。

（訂正後）

当社は、当社の元連結子会社であるロジコムリアルエステート株式会社（現株式会社LCリアルマネジメント）におきまして、2015年3月期及び2016年3月期の会計処理の適切性について疑義あることにつき、外部より指摘を受け、事実関係解明のために社外有識者を主要メンバーとする社内調査委員会を設置し、調査を実施いたしました。

その結果、当社は過年度の決算を修正することになり、当社第23期（自 2014年4月1日 至 2015年3月31日）、第24期（自 2015年4月1日 至 2016年3月31日）及び第25期（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）の内部統制報告書の訂正報告書を提出するに至りました。

当社は、2020年3月31日時点におきましては開示すべき重要な不備は是正されており、当社の財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしましたが、2020年4月22日に社内調査委員会から受領しました調査報告書の中で指摘を受けました問題点及び再発防止策の提言を踏まえ、本件を厳粛に受け止め、以下の再発防止策を策定し、内部統制の整備と運用状況に関しまして一層の強化を図っております。

<再発防止策>

- (1) グループ会社管理体制の強化
- (2) 当社内における情報共有体制の強化
- (3) 会計コンプライアンス遵守の意識の再確認

当社といたしましては、引き続き再発防止策を継続推進するとともに、当社の内部統制の状況全般に関しまして、継続的なモニタリングを行ってまいります。